

市民のための教育講座を 始めました



主催 NPO 法人教育支援三アイの会

大きく変化している教育現場

そこで何が起きているのか。

今教育が大きく変化しています。

教育と言えば学校教育が基本ですが、その学校教育も、適齢期になれば学校へ行って教わるというだけのものではありません。

その前に子どもたちは、生まれると同時に様々な機器に依って学習しています。日常の教育の在り方によって子どもは様々な育ち方をします。

その日常の育て方を親としてどう取り組んでいけばよいのか。それを学んで行きたいと思い、この講座を開設しました。

どうか、これからの子どもたちのためにお出で下さるようお願い致します。

第1回 市民のための教育講座

プログラミング学習とは？

プログラミング学習は、国の教育施策として2020年から小学校では必修として取り入れられます。子どもが教わるよりも学ぶという意識で学習する第1歩です。それを保護者として理解することは、子どもの学習には大事なことです。

講師を招いて初歩なことから学んでいきましょう。

- 1 日時 平成30年11月17日 土曜日 14時から16時
- 2 場所 教育支援三アイの会会議室 下記会場図参照
- 3 講師 佐和伸明先生(柏市立手賀東小学校校長)
- 4 参加費 無料

会場図

三つのあいさつは
教育の原点

1. 出迎いのあいさつ
おはようございます、
こんにちは、こんばんは
2. 人の行為に対するあいさつ
ありがとう、ごめんなさい
3. 人を気遣うあいさつ
どうしましたか、よかったですね

教育支援
三アイの会

(特定非営利活動法人)

〒277-0005
千葉県柏市柏3-6-14
増谷第1ビル4階402号
TEL 04-7162-2130
FAX 04-7162-2140

電子メール sanainokai@bz03.plala.or.jp

ホームページ <http://www.sanainokai.com/>



子どもたちはデジタル授業に夢中

小学校必修化は秒読み 動き始めた先進公立校

地域ぐるみで教える “聖地”

千葉・柏市

注目すべき自治体がもう一つある。小学校でのプログラミング必修化が公示される半年以上前に、市内全42校への導入を発表し、今やプログラミング教育の「聖地」と呼ばれる千葉・柏市だ。

実際に全校で授業が始まったのは昨年度から。4年生の総合学習の時間に、前述のスクラッチを用いてプログラミングの基礎を学ぶ。



同市がプログラミング教育の聖地と呼ばれるきっかけを作った佐和氏(右上)と、ボランティアのプログラミングクラブ「CoderDojo Kashiwa」(左、右下)



2018.7.21 週刊東洋経済

授業計画は市の教育委員会が作成し、IT教育支援アドバイザーも派遣するため、ノウハウのない学校でも授業を実施しやすい。

さらに昨年、同市の教育委員会は民間プログラミング塾の協力の下、学習支援の市民ボランティアを育成した。人数は市内に住む定年退職後の男性や主婦を中心に17人。学校の授業や市内のプログラミングイベントのサポートを担う。

一連の取り組みの仕掛け人であり、現在は柏市立手賀東小学校の校長を務める佐和伸明氏(右、下写真右上)は、「交通費や謝礼は出していないが、『柏からステイプ・ジョブズを生むんだ』と意気込む人もいる」と話す。

柏市の特徴はこれだけではない。全国に約145カ所あるボランティアのプログラミングクラブ「CoderDojo」(同写真左・右下)。同じ市区町村に2カ所以上あることはまれだが、柏市には4カ所ある。クラブ内だけでなく、教育委員会と共同でワークショップを開いたり、地元の祭りをプログラミングで演出したりと地域との結び付きが強い。

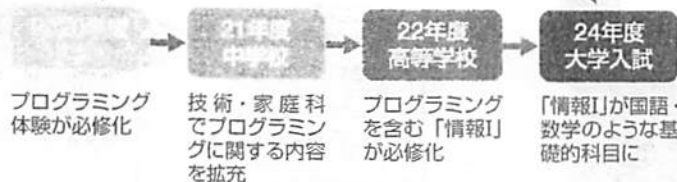
柏市にある同クラブの一つ「Kashiwa」で代表を務める宮島衣瑛氏は、「子どもが市内のどこに住んでいても学べるようにしたい」と語る。学校だけでなく地域ぐるみでもプログラミングを教える。これこそ柏市が「聖地」と称されるゆえんだ。

講座資料

必修化まで2年を切った — プログラミング教育の導入スケジュール —

現時点で小学4年生以下の子どもが対象!

現時点で小学6年生以下の子どもが対象!



(注)2018年7月時点

再来年の2020年度に小学校でプログラミング体験が必修化。翌21年度には中学校の技術・家庭科でプログラミングに関する内容が拡充され、22年度には高等学校でプログラミングを含む「情報I」が必修となる(右図)。